



みどりの風

匝瑳市立須賀小学校【学校だより】
令和元年6月25日 [No.4]



どうすれば安全に逃げられる？ 不審者対応避難訓練

6月13日（木）に不審者対応避難訓練を行いました。

ここ数年、不審者対応避難訓練は、校外で不審者に遭遇した際にどう身を守るかをテーマとして行っていましたので、今年度は学校に不審者が入ったときの対応の訓練を実施しました。

訓練の前の職員会議は、真剣な協議になりました。「もし、校内に不審者が入ったときに、児童をどこにどのように誘導したらよいのか」「鍵のかかる体育館へ誘導したらどうか」「体育館への誘導の途中で襲われたら大きな被害が出る」「『すかっ子ルーム』や『音楽室』など、同じ階の鍵のかかる部屋に逃げるのはどうか。」「やはり、移動に時間がかかる。」など様々な意見が出されました。最終的には、それぞれの教室を内側から鍵がかかるようにして、不審者を入れないようにし、不審者が確保されるのを静かに教室で待つ、という対応で訓練を試みようということになりました。

当日は、匝瑳警察署生活安全課の方より子どもたちが真剣に避難していること、学校の対応としても適切であるとお褒めの言葉をいただきました。もしもの時の教員の対応としては、自分の身の安全を確保することを最優先であり、不審者を取り押さえようなどとはせず、警察が来るまでの時間を稼ぐ工夫をするようアドバイスをいただきました。

訓練をしてみて、もしも実際に不審者が来たときの対応として様々な課題があると実感しました。川崎市でスクールバスを待つ児童が襲われるという事件が今年度になり発生しました。私たちは川崎市の事件を他人事とは思わず、もしものときはどのように対応するのか、より良い方法を模索していきたいと思います。



不審者役の畔蒜先生と教頭先生の真剣な訓練の様子です。

上級生 立派です!

上級生ががんばっているなあと思った行事が、今月中旬に続きましたので、紹介します。2つの行事とも梅雨入りした後でしたが、好天に恵られました。

18日 全校歩き遠足

6月18日(火)は全校歩き遠足で、のさかふれあい公園まで往復約6kmの道のりを歩きました。1年生から6年生まで学年が混ざった8つの縦割りグループでの活動でした。ふれあい公園での活動ではグループの全員



が楽しく、安全に過ごせるように上級生が下級生の様子を見ながら過ごしていました。暑い中の活動でしたので、しっかり水分を補給するようにも声をかけてくれました。「だるまさんがころんだ」やドッジボールなどでたくさん遊んで、疲れのたまった帰り道は、上級生が下級生と手をつなぎ、励ましながら歩いていました。

「毎日遠足だったらいいな」と思えるような優しさあふれる、楽しい一日になりました。



19日 プール開き

6月19日(水)はプール開きでした。体育委員が進行をする中、それぞれの学年が自分たちの水泳に関する「めあて」を発表しました。鈴木裕史体育主任から、プールでの安全のための約束などを確認した後、6年生による4泳法のデモンストレーションがありました。バタフライ、クロール、平泳ぎ、背泳ぎとそれぞれしっかりした泳ぎで、下級生はよいイメージが持てたことと思います。

その後1・6年、2・5年、3・4年がそれぞれ組になり、短い時間でしたが水遊びを楽しみました。6年生が1年生をおんぶして水の中を進むほほえましいシーンも見られました。事故なく、そして実り多い水泳指導になることを心から願っています。

プール開きが無事に行われるように、3日(月)は5・6年生でプール掃除をがんばりました。真っ黒だったプールの底や壁面、草や土がいっぱいだったプールサイドなどを根気強くきれいにする5・6年の姿に頼もしさを感じました。

ブロック塀をフェンスにする工事も無事に終了したことも報告いたします。ご協力ありがとうございました。

